

ふるさと財団「地域再生マネージャー」情報

1. 基本情報

組織名・所属		株式会社とける				
役職		代表取締役社長				
氏名		柴田 涼平	ふりがな	しばた りょうへい	生年	1992年3月9日
連絡先	住所		〒			
	固定電話				携帯電話	070(5048)0310
	メールアドレス	<a href="mailto:ryohei.shibata@tokeru.info">ryohei.shibata@tokeru.info</a>				


2. 経歴・取組内容、取組分野等

主な経歴・受賞歴	<p>&lt;経歴&gt;                  北海道稚内市出身 明治学院大学 国際学部国際学科卒業                  ◆2014年 合同会社Staylink 創業(業務執行社員)                  ◆2019年10月 NPO法人 E-LINK 理事就任                  ◆2021年7月 株式会社とける 創業                  ◆2022年10月 LAGHU GROUP 顧問就任                  ◆2023年1月 一般社団法人シェアリングエコノミー協会北海道支部副支部長就任</p> <p>&lt;2023年&gt;                  ◆ふるさと財団 地域再生マネージャー</p>	
	<p>&lt;主な取組内容&gt;                  &lt;2018年度～&gt;                  ◆北海道移住ドラフト会議主宰(2021年度より実行委員長就任)</p> <p>&lt;2022年度&gt;                  ◆北海道厚真町・北海道栗山町広域連携による新関係人口デザイン</p>	
取組分野 (テーマ)	● 観光	(北海道札幌にて宿泊施設の立ち上げ、経営、運営、コミュニティづくり、インバウンド向け施策の経験を10年ほど持ち合わせる。)
	● 移住・定住・関係人口	(北海道の関係人口を生み出す「北海道移住ドラフト会議」の実行委員長を担う。北海道自治体との関係人口案件を複数経験あり。)
	● 農林水産業	( )
	● 起業支援	(大学卒業後から、起業家としての人生を10年近く歩んでいる経験から、起業に関して多方面で助言が可能。)
	● まちなか再生	( )
	● 集落再生	( )
	● 環境	( )
● その他	( )	

3. 関連ホームページ	
名称	アドレス
株式会社とける公式ホームページ	<a href="https://tokeru.link/">https://tokeru.link/</a>
北海道移住ドラフト会議	<a href="https://hokkaidoju.com/">https://hokkaidoju.com/</a>

4. ふるさと財団での実績	
外部専門家 活用助成	◆2022年度 北海道厚真町・栗山町「広域連携による新関係人口構築デザイン」
外部専門家派遣 (短期診断)	◆2023年度 北海道士別市「人口減少のなか若者が住みやすい士別市にむけて、基幹産業である農業や観光、6次産業化等の磨き上げと若者の移住定住に向けて」
地域再生 セミナー	
その他	

5. 財団報告書	
名称	アドレス
令和5年度 地域再生マネージャー事業	<a href="https://www.furusato-zaidan.or.jp/wp-content/uploads/2017/03/e9ed7b07cd8fdc3a4dc84539afae2c0f.pdf">https://www.furusato-zaidan.or.jp/wp-content/uploads/2017/03/e9ed7b07cd8fdc3a4dc84539afae2c0f.pdf</a>
令和4年度 地域再生マネージャー事業	<a href="https://www.furusato-zaidan.or.jp/wp-content/uploads/2023/04/fcafec08f7f0303609b9bdd59a19b07fd.pdf">https://www.furusato-zaidan.or.jp/wp-content/uploads/2023/04/fcafec08f7f0303609b9bdd59a19b07fd.pdf</a>

6. 写真・ひとことPR	
	<p>&lt;ひとことPR&gt;</p> <p>地域と関わる上で大切にしていることは「そこに住んでいる方々の願いにしっかりと耳を傾ける」ことです。そこに住む方々の願いを集め、どのような未来を望むかを一緒に考えた上で、成果物を生み出していきます。</p> <p>成果物へのこだわりはもちろんですが、成果を生むプロセスの共有も同時に大事にしています。共創体験を大切にしながら、最終的に関わるすべての人が喜びを抱くような取り組みを作っています。</p> <p>北海道はもちろん、全国各地の若年層とのつながりを持ち合わせていることから、若年層の来訪や視点を求めている地域に対しては、一層の力を発揮することができます。関係性が深まった地域とは、総合計画策定部分も一緒にさせていただいております。</p>